



おき  
沖 理 子 (51 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研究  
開発機構 第一宇宙技術部門  
地球観測研究センター  
上席研究員



か ち み さ こ  
可 知 美佐子 (46 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研  
究開発機構 第一宇宙技術部門  
地球観測研究センター  
主幹研究員



く ぼ た た く し  
久保田 拓 志 (39 歳)

現職  
国立研究開発法人宇宙航空研究  
開発機構 第一宇宙技術部門  
地球観測研究センター  
主任研究員

### 準リアルタイム衛星全球降水マップ技術の振興

#### 業 績

洪水のような水に関連する災害の発生は、台風や豪雨等の気象現象を起因とする場合が多く、降雨の状況を把握することが防災分野において重要であるが、データの精度や時空間分解能の問題に加え、速報性の不足によって衛星降水データの利用が進まなかった。

本活動では、衛星観測データから、水平解像度約 10km、提供頻度 1 時間の衛星全球降水マップ (GSMaP) を観測から 4 時間後の準リアルタイムで作成するためのデータ処理システムの構築・運用を実施した。また、静止気象衛星「ひまわり」観測域内で「実時間」の GSMaP データの作成・配信を実現した。さらに、ホームページ「世界の雨分布速報」や「世界の雨分布リアルタイム」上で、一般の利用者を想定し、使いやすいユーザインタフェースによる GSMaP 画像の表示を可能とするシステムを構築した。

本活動により、この数年間で GSMaP データの利用者が急増し、平成 27 年 6 月末で約 1468 名、76 カ国に達した。アジア・アフリカ・オセアニア・中南米・欧州・米国の 46 カ国の気象・水文機関が利用し、GSMaP データによる降雨監視や洪水予測等により降雨災害の被害軽減に寄与している。

**主要論文：**「複数の衛星搭載マイクロ波／赤外放射計の複合による「世界の雨分布速報」システムの構築とその利用」電気学会 A 部門誌、p729～737、2011 年 9 月発表

「Global Precipitation Map using Satellite-borne Microwave Radiometers by the GSMaP Project : Production and Validation」IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing、p2259～2275、2007 年 7 月発表